

図書館
だより

プラスワン

2014年
11・12月号
(Vol.0007)

今月の1冊

『ウイスキーと私』

竹鶴 政孝／著 (588タ) NHK出版



ウイスキーに苦しみ、ウイスキーに喜んだ人生であった。

NHK連続テレビ小説「マッサン」のモデルである、ニッカウキスキー創業者・竹鶴政孝。ただひたすらにウイスキーを愛し、日本でのウイスキー醸造に人生を捧げた竹鶴氏の自伝が、約40年のときを経て復刊しました。

若き日に単身でスコットランドに留学し、幾多の苦難を乗り越えてジャパニーズ・ウイスキーを完成させるまでの日々などを綴った、誇張のない淡々とした筆致からは、かえってウイスキーに対する情熱や妻・リタに対する愛情が強く伝わってきます。

そのほかの「ウイスキーに関する」本

- 『竹鶴政孝とウイスキー』 (土屋 守／著)
- 『ヒゲのウキスキー誕生す』 (川又 一英／著) ※竹鶴政孝氏を描いた小説
- 『日本ウイスキーの誕生』 (三鍋 昌春／著)
- 『ゼロから始めるウイスキー入門』 (土屋 守／監修)
- 『もし僕らのことばがウイスキーであったなら』 (村上 春樹／著)
- 『ウイスキー奇譚集』 (ジャン レイ／著)

など

* * ・ 貸出・予約ランキング TOP10 ・ * *

貸出		予約	
1 憂いなき街	佐々木 譲//著	1 マスカレード・イブ	東野 圭吾//著
2 すべての神様の十月	小路 幸也//著	2 遺譜 上・下	内田 康夫//著
3 熱く生きる	天野 篤//著	3 昨日みた夢	宇江佐 真理//著
4 破門	黒川 博行//著	4 荒神	宮部 みゆき//著
5 アンダーカバー	真保 裕一//著	5 すえずえ	畠中 恵//著
6 すえずえ	畠中 恵//著	6 銀翼のイカロス	池井戸 潤//著
7 廉恥	今野 敏//著	7 天(そら)の梯(かけはし)	高田 郁//著
8 敗者たちの季節	あさの あつこ//著	8 神隠し	佐伯 泰英//著
9 山女日記	湊 かなえ//著	9 捜査組曲	今野 敏//著
10 銀翼のイカロス	池井戸 潤//著	10 明日の子供たち	有川 浩//著

※ 2014年8月・9月 市内図書館4館合計

コレ読む!!

テーマ展示 図書紹介

毎月、各図書館で行っているテーマ展示を紹介するこのコーナー。
今回は、中央図書館の12月テーマ展示「文学賞受賞作品」からピックアップ!

『しんがり 山一証券最後の12人』

清武 英利／著 (338キ) 講談社

1997年、四大証券の一角を占める大手、山一証券が金融危機のさなかに破綻。幹部たちまでもが我先にと沈没船から逃げ出すなか、最後まで会社に踏みとどまり、真相究明と顧客への清算業務を続けた社員たちがいました。それは、「場末」と呼ばれ、社内から煙たがられた部署の12人。会社の消滅時で見返りも無いなかで彼らが貫いた「意地」とは――。

※第36回講談社ノンフィクション賞 受賞



『辞書になった男 ケンボー先生と山田先生』

佐々木 健一／著 (813サ) 文藝春秋



現代日本語の実例を採集する作業で生涯145万語(『広辞苑』の約6倍!)を収集し、「客観性重視の編さん方針」を持つ見坊氏。そして、業界の陰口も気にせず主観むきだしの語釈(言葉の説明)を書きまくり、「主観性重視の編さん方針」を持つ山田氏。正反対に見える2人ですが、実は同じ辞書を作っていたときがありました。なぜ袂を分かつに至ったのか。偉大な2人の編さん者の生き様と友情、そして決別を描いた傑作です。 ※第62回日本エッセイスト・クラブ賞 受賞

『『青鞥』の冒険 女が集まって雑誌をつくるということ』

森 まゆみ／著 (367モ) 平凡社

平塚らいてうによる「元始、女性は太陽であった」という創刊の辞に象徴されるように、文芸誌『青鞥』は男尊女卑の風潮が強かった明治から大正にかけて出版されました。「新しい女」という言葉を生むもとになった『青鞥』とそれに関わった人々を、女性史という従来の観点ではなく、雑誌作りという観点から考察しているのが、本書の面白いところ。女性、同業者、そして同郷者としての視線を折り混ぜながら論じられる、新しい『青鞥』論。 ※第24回紫式部文学賞 受賞



『ゆうじょう』

村田 喜代子／著 (913.6ム) 新潮社



硫黄島から熊本の廓に売られてきた海女の娘イチ。体を売り、女を虐げる苦界である遊郭の世界の中でも、強く健気で天真爛漫なイチの物語……というだけではありきたり。言葉や読み書き、そして商品である体のケアを教える妓女のための学校の存在、遊郭内部の仕組みやルール、そして女としての商品価値を高めるための店側の配慮をも描いた内容は、まるで遊郭の世界の「職業小説」のようでもあります。 ※第65回読売文学賞小説賞 受賞

* テーマ展示 実施予定 一覧 *

※掲載している以外の展示も実施します。

	11月テーマ展示	12月テーマ展示
中央	一般「あったか生活はじめます。」 児童「大きくなったら何になる？」(仕事や会社の本)	一般「文学賞受賞作品」 児童「みじかい時間でよめるおはなし」
花矢	一般「編んでみませんか!」 児童「しごと」	一般「落語」 児童「この本読んだ? 2」
比内	一般「冬の支度」 児童「ほっかほか」	一般「暮らしを整える」 児童「ユーモアえほん」
田代	一般「健康づくり」 一般・児童共通「冬物語」	一般「高齢者向け大活字本」 一般・児童共通「冬物語」

田代 「雑誌プレゼント」

毎年、田代地区文化祭にあわせて、保存期間が終了した雑誌を無料で提供しています。数に限りがありますので、ご利用はお早めに！

- ◆11月8日(土)・9日(日) 9:00～
- ◆田代図書館 1階 カウンター前 / 田代公民館

中央 「第10回 ビブリオバトルinおおだて」

今回のテーマは「心が温まる本」。あなたのおすすめの1冊を紹介してみませんか？ 見学も自由にできます。ぜひお気軽にお越しください。

- ◆12月6日(土) 14:30～
- ◆中央図書館 2階 視聴覚室

定例おはなし会

- ◆中央図書館 第1・3金曜日 10:30～
- ◆花矢図書館 第2水曜日 10:30～

※日程が変更となる場合もあります。

中央 第4回「図書館でホットタイム」

誰でもが図書館に集まり、お茶を飲みながら好きなことを語り合うサロンのような場「図書館でホットタイム」。出入り自由ですので、お気軽にいらして下さい。

- ◆11月26日(水)
- ◆11:00～15:00
- ◆中央図書館 2階 視聴覚室

中央 「冬休みワクワクドキドキおはなし会」

読み聞かせボランティア「おはなしの森」の皆さんが、幼児～小学校低学年を対象にした絵本の読み聞かせを行います。ぜひいらして下さい。

- ◆12月26日(金) 10:00～11:00
- ◆中央図書館 1階 児童コーナー

くわしい情報はこちらでも！

- ◆図書館HP <http://lib-odate.jp/>
- ◆図書館 twitter https://twitter.com/lib_odate/

*** 秋田県初！ ビブリオバトル高校生・大学生大会 ***

秋田県で初めて「ビブリオバトル 高校生・大学生大会」が開催され、高校生県北大大会は大館市立中央図書館で行われました。

5人の発表者に対して、大館市内外から45人もの観戦者（投票者）が集まった県北大大会。「人によって着目点違って面白かった」「全部読んでみたくなった」「自分の好きな本を伝えるという楽しさにふれることができた」「今度は参加してみたい」など、発表者・観戦者ともに楽しむことができた様子。ビブリオバトルの輪が広がっています。



Q & A

第7回 今年の年末も、貸出冊数が増えますか？

Q. 去年は、年末年始の休館日の前に、貸出冊数が増えましたよね？

A. 今年も、12月16日(火)から貸出冊数を2倍に増やします！

今年度の年末年始の休館期間は、中央・花矢・田代図書館は12/29(月)～1月3日(土)で、比内図書館のみ、公民館の中にある関係上、12月26日(金)17時～1月5日(月)です。

しかし、年末年始の休みに、まとめて本や雑誌を読みたい、もしくは遊びに来るお孫さんのために絵本や紙芝居を用意しておきたい、という方も多いはず。そこで、下記の期間、図書館で借りられる本・雑誌・紙芝居の冊数や貸出期間を、以下のように変更します。(おひとり号での貸出、および市外からの相互貸借資料を除く)

	貸出点数/貸出期間	変更期間
本・雑誌	あわせて10冊まで/3週間貸出	12/16(火)～12/28(日) ※
紙芝居	10巻まで/3週間貸出	12/16(火)～12/28(日) ※

※比内図書館のみ12/26(金)まで



わたしが好きな図書館の〇〇

第7回:「畳敷きの児童室」のある花矢図書館

花矢図書館は、花岡公民館向かいに位置し、近くには歴史深い鳥潟会館があります。また、春には花岡川沿いにある満開の桜並木の花びらが、この図書館を包み込んでくれます。

蔵書は、一般書・児童書を合わせて約1万5千冊を揃えています。特に絵本や紙芝居を充実させ、近隣の保育所や小学校への定期的な貸出や、園児を招待しての読み聞かせ会を毎月実施しています。

下校時になると、宿題をする子や、互いに紙芝居を読みあう子どもたち、思いのままの姿でゆったりと読書している子どもたちの光景がみられます。特に、館内の一角にある、靴を脱いでくつろげる「畳敷きの児童室」は格別。大人も思わずホッとするとする憩いの空間が、花矢図書館にはあります。



花矢図書館 小笠原



事務室の窓際に2冊の本を置いています。1冊は浅野紀夫著『顧客満足度調査のノウハウ』(かんき出版、1999年)。もう1冊は宮下志朗著『書物史のために』(晶文社、2002年)。前者は東京・千代田区の千代田図書館、後者は千葉県・浦安市立中央図書館で入手しました。どちらもリサイクル用を示すシールが貼られた、いわゆる除籍本です。住民でなくても必要なら誰でもどうぞ、ということでした。

除籍に関しては図書館ごとに、保存年限を超えたもの、傷みが激しいものなどと除籍基準が決められています。古くなれば必ず除くわけではなく、読者がいる限りは除籍しません。また、郷土に関する本は特に大事に保存されます。購入・提供・保存・除籍といった各段階で図書館の特徴が出るわけで、その総体が各図書館の個性になっていくわけです。大館市の図書館4館も、それぞれのカラーを持っています。それは各館の歴史と、いまの図書館員と、そして何より利用者が作り出している色なのです。

ちなみに私は本が捨てられない性分で、その上未読の本がおそらく5桁に達しています。読みたいから買ったはずですが、全部を読めないのは確定です。今の内にすっきり処分したほうが良いと、分かってはいるのですが……。

大館市立図書館館長・図書館だより発行人 野呂陽一

*** * 大館市立図書館利用案内 * ***

【中央図書館】	【花矢図書館】
○開館時間 火～金 9:30～19:00 土日祝 9:30～17:00	○開館時間 火～金 9:00～19:00 土日 9:00～17:00
○休館日 月曜日(祝日含む)、年末年始、蔵書点検期間	○休館日 月曜日、祝日、年末年始
○貸出冊数 本・雑誌 あわせて5冊まで 2週間 紙芝居 5巻まで 2週間	○貸出冊数 本・雑誌 あわせて5冊まで 2週間 紙芝居 5巻まで 2週間
○電話番号 0186-42-2525	○電話番号 0186-46-1557
【比内図書館】	【田代図書館】
○開館時間 火～金 9:00～19:00 土日 9:00～17:00	○開館時間 火～金 9:00～19:00 土日 9:00～17:00
○休館日 月曜日、祝日、年末年始	○休館日 月曜日、祝日、年末年始
○貸出冊数 本・雑誌 あわせて5冊まで 2週間 紙芝居 5巻まで 2週間	○貸出冊数 本・雑誌 あわせて5冊まで 2週間 紙芝居 5巻まで 2週間
○電話番号 0186-43-7142	○電話番号 0186-43-7127

※ 図書館だより「プラス・ワン」の中で使用している図書の表紙画像は、各出版社からの使用許可を得て掲載しております。